

令和 7年度

事務事業評価表 (令和 6年度 の実績評価)

記入年月日
令和 7 年 4 月 11 日

事務事業名		茨城県後期高齢者医療広域連合参画事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	010701000380
						単独/補助	補助		030201
政策体系	総合計画の施策名	O107 社会保障制度の健全運営						所属課	国保年金課
	政策名	O1 子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり						課長名	
	施策名	O7 社会保障制度の健全運営						グループ	後期・医療福祉グループ
	手段名	O1 ①医療保険制度の充実						担当者名	
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	一般会計			
	01	03	01	04	02	老人医療給付事業			
法令根拠	高齢者の医療の確保に関する法律					単年度繰返し (平成18年度~)			
	【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)					☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順	
	<p>国の医療制度改革により、平成20年度に後期高齢者医療制度が創設された。これに先立ち、県内の全市町村が参画する茨城県後期高齢者医療広域連合が平成18年度に設立され、主として75歳以上の高齢者に係る医療保険制度の財政運営を一元的に行っており、構成団体である市町村はその運営に係る各種費用を負担している。</p> <p>また、当該広域連合への人的な参画として輪番制により職員を派遣 (派遣期間3年) し、事業検討委員会及び同専門部会に参加している。</p>		<ul style="list-style-type: none"> 広域連合の保険料額決定に基づき保険料を徴収、広域連合へ納付する。 低所得者等に係る保険料軽減額を保険基盤安定納付金 (県負担3/4、市負担1/4) として広域連合に納付する。 広域連合の決定に基づき、広域連合運営に係る共通経費 (事務費)、療養給付費を負担する。 広域連合が開催する事業検討委員会及び同専門部会へ参加により、事業運営の意思決定過程に参画する。 	

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)
保険料の徴収、保険基盤安定納付金、共通経費を広域連合へ納付する。検討委員会へ参加する。	負担金額	千円	1,124,381.00	1,124,381.00	1,124,381.00	1,124,381.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)
茨城県後期高齢者医療広域連合	構成市町村団体数	団体	44.00	44.00	44.00	44.00	44.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)
財政運営の広域一元化を維持・発展させる	負担金所要額に対する支払割合	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)	期間限定 総投入量
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	
		県支出金	千円	96,101	101,219	101,219	
		地方債	千円	0	0	0	
		使用料・手数料	千円	0	0	0	
		その他	千円	506,319	568,627	568,627	
		一般財源	千円	421,578	362,836	362,836	
	事業費計 (A)	千円	1,023,998	1,032,682	1,032,682		
	正規職員従事人数	人	3.00人	3.00人	3.00人		

事業費の内訳	06年度事業費 実績 (千円)			07年度事業費 予算 (千円)		
	18 負担金補助及び交付金	1,032,682		18 負担金補助及び交付金	1,032,682	
		合計	1,032,682		合計	1,032,682

(4) 当該年度の実施内容	07年度の事業内容	08年度の事業内容	09年度の事業内容
※年度ごとに事業内容を記入する	広域連合の額決定に基づき保険料を徴収、広域連合へ納付。低所得者等の保険料軽減額を保険基盤安定納付金 (県負担3/4、市負担1/4) として広域連合に納付。広域連合運営に係る共通経費・療養給付費を負担	広域連合の額決定に基づき保険料を徴収、広域連合へ納付。低所得者等の保険料軽減額を保険基盤安定納付金 (県負担3/4、市負担1/4) として広域連合に納付。広域連合運営に係る共通経費・療養給付費を負担	広域連合の額決定に基づき保険料を徴収、広域連合へ納付。低所得者等の保険料軽減額を保険基盤安定納付金 (県負担3/4、市負担1/4) として広域連合に納付。広域連合運営に係る共通経費・療養給付費を負担

	船11貨を負担。	船11貨を負担。	船11貨を負担。		
事務事業名	茨城県後期高齢者医療広域連合参画事業	事務事業No.	10701000380	所属課	国保年金課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 医療制度改革の一環として、新たな高齢者医療制度が構築されたことによる。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 今後とも連携を強化し、事業に取り組んでいかなければならない。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 後期高齢者医療制度の推進において、密接に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 後期高齢者医療制度の適正な執行のため必要である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 法に基づくものであり、向上余地はない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 高齢者の安定した医療が確保できない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 統廃合の余地はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 桜川市単独では削減できない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 75歳に到達すると全ての方が茨城県後期高齢者医療広域連合の被保険者となるため公平・公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括 (振り返り、反省点) 所要額を滞滞なく茨城県後期高齢者医療広域連合に支出し、財政基盤の安定化が図れた。																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			
(3) 今後の事業の方向性																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																							
(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑦																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>